



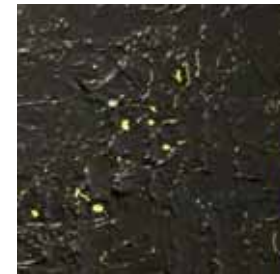
赤司建一郎 Akashi Kenichirou



下倉 剛史 Shimokura Tuyoshi



宮本 光信 Miyamoto Mitunobu



4/9(木)→14(火)  
11:00~19:00  
(最終日は16:00迄)

2015

LES DIX-SEPT 展

今回の展覧会は、毎年開催して頂いている「レディセット展」です。

「レディセット」とは、フランス語で「17」を意味し、宝塚大学（旧宝塚造形芸術大学大学院）の基礎造形の受講生と卒業生（洋画・日本画・彫刻）を中心にしたグループ名です。今回は赤司建一郎さん、下倉剛史さん、宮本光信さんの3人展となりました。

作品は、会場に入って中央付近に下倉さんの作品が5点、右側に宮本さんの作品が6点、左側前方と右側奥に赤司さんの作品が5点の計16点が並べられました。

赤司さんの作品は、油画で人物や風景を色彩豊かに描いたものと、スケッチでシンプルに描かれたものの2種類がありました。画材は異なりますが、どちらも流れるような描き方が特徴で、爽やかな印象です。

下倉さんの作品は、日常の中で見る風景を独自のフィルターを通して描かれています。大きく傾いていたり、普段目にならないような色が使われていたり。少し滲んだようなタッチが瑞々しい、きれいな作品です。

宮本さんの作品は、前回より明るい色を使って描かれていましたが、今回は一変して黒で統一されました。近づいてみると、黒色に見えた画面は黒一色ではなく、様々な色が塗り重ねられていたり、たくさん綿棒を使って作られていたり、様々な表情が楽しめたり、驚きがある作品でした。

一つの会場の中でまったく異なった個性や画風を見るのが出来る、興味深い展覧会でした。

来年はどんな作品に出合えるのか楽しみです。



※ 画像・イラスト等の保存・無断使用・転載・二次利用は禁止します ※